



とちぎ・織姫通信

NO.12
2026年
4月発行

かい は ゆめ きぼう とちぎ つく かい せい む かつどう ほうこくしょ
会派：夢と希望あふれる栃木を創る会 政務活動報告書

ごあいさつ



こんにちは！いつも元気でおせっかい!! 栃木県議会議員の「大谷弥生（おおたにやよい）」です。よろしくお願ひ致します。

今年度私は、予算特別委員会の委員としても活動をしていました。3月16日（月）には、令和8年度の当初予算の総括質疑を行いました。

1点目は、災害対策本部機能強化に向けた取組についてです。令和8年度は、足利市で総合防災訓練が行われる予定です。直近で栃木県が災害対策本部を立ち上げたのは令和元年東日本台風の時であり、それ以来6年以上、大規模な災害は発生していないことから、平時から陸上自衛隊等の支援機関と連携し、災害対策本部の機能強化に取り組むことを追加要求致しました。

2点目は、県産農産物を使用した加工品のブランド価値向上についてです。新年度新規事業として、県産農産物への統一ロゴマークの活用を促進します。これに伴い、農業団体等が包装紙等にロゴマークを印刷する経費を支援する、県産農産物のブランド価値の深化・推進を図るための事業費が計上されました。私は、農産物そのものに加えて県産農産物を原材料とした加工品にも統一ロゴマークを活用して周知するほうが、県産農産物のブランド価値の深化・推進を更に図ることができると考えました。栃木県産の農産物を使用していることが明確に消費者に伝わり、周知する機会も増えると考えました。そのため、県産農産物を原材料とした加工品にも統一ロゴマークを活用することを追加提案しました。特に栃木県産二条大麦は、高い品質が求められるビール麦として、100年以上も昔から大手ビール会社との契約栽培が行われています。このビール麦は足利市を中心に栽培されおり、令和7年度の生産量は全国第1位でした。私は、栃木県がビール麦の有数な生産地であることを県民に知ってもらうことでも県産農産物加工品のブランド価値の深化・推進にもつながっていくと思っています。

これからも、様々な機会を得て、皆様から頂いた声を県民の代表として声を届けていきたいと思ひます。これからも、栃木県議会議員 大谷弥生 に引き続きご指導いただきますようお願ひします。

令和7年度 栃木県議会第412回通常議会 令和8年2月16日(月)～3月19日(木)

【主な内容】 第412回通常会議においては、新年度の当初予算案など62の議案を可決しました。また、およそ9606億円に上る一般会計当初予算案や、4月からの施行を目指すカスタマーハラスメントの防止に関する条例案など62の議案が可決されました。

さらに、ミラノ・コルティナ冬季パラリンピックのアイスホッケーで8位に入賞した宇都宮市出身の金子幹央選手に、県のスポーツ功労賞を授与する考えを明らかにしました。

また、2018年から副知事を務めてきた北村一郎氏の後任に、県総合政策部長などを歴任した笹川正憲氏を選任する議案が提出され、可決されました。

また、正副議長選挙が行われ、新議長に関谷暢之議員、副議長に白石資隆議員が選出されました。

【質疑・質問】 質問の回数は、議員一人年1回と議会運営委員会で今年度も決定され、私は昨年の9月通常会議で質問しました。質問時間は、質問と答弁を合わせて60分、代表質問は70分です。

今回は、螺良昭人議員、山口恒夫議員、保母欽一郎議員、あべひろみ議員、岡部光子議員、大久保ゆみ議員、佐藤晴彦議員、山田みやこ議員、板橋一好議員の9名が質問されていました。

※見逃した方は、栃木県議会ホームページ「令和7年度 第412回通常会議 質疑・質問」の様子を視聴できます。

スマートフォンでも
視聴できますよ！

右記の二次元コードを読み取ると、スマートフォンから議会中継がご利用になれます。



●次回は、ご覧になりませんか？

次回の令和8年度栃木県議会通常議会（予定）は、
6月2日（火）～6月22日（月）
質疑・質問は、6月4日（木）・6月8日（月）・9日（火）
10時～
実際にご覧になりたい方は、栃木県庁舎 議会議事堂 6階にて傍聴できます。また、お家などでゆっくりとご覧になりたい方は「とちぎテレビ」でも放映されています。

2月15日(日)
県政報告会を
開催しました！
～ご参加ありがとうございました～

約130名の方々にご参加いただきました。令和7年度に行った質疑・質問のご説明をさせていただきました。令和6年7年の2年間かけておこなった当初予算要望では、令和8年度から警察官への暑熱対策として、空調服導入するための事業費が新たに予算措置されることになったことなどご報告させていただきました。

